

WILDLIFE VIEW vol.1

ワイルドライフビュー 1号



CONTENTS

- エッセイ 戦士の休日 (アフリカンバッファロー)
- 特集1 “LOVE4” という名のチーターファミリー
- 特集2 崇高な皇帝の子育て (コウテイペンギン)
- TOPIX フィリピンイーグル/シャムワニ/ツキノワグマ
- チンパンジーの父、デビッド・シドル逝く
- 特集3 白き象牙は深紅に染まる (アフリカゾウ)
- 特集4 消えゆく森の住人 (オランウータン)
- 特集5 眩い星のあかりの下、ウミガメは砂浜をめざす



特集1 “LOVE4” という名のチーターファミリー

かつてアジアの平原に君臨し、その高貴な容姿と他を圧倒するしなやかな俊足で、多くの為政者を魅了し続けてきたチーター。その昔、地上の栄華を欲しいままにしたインドのムガル帝国の王たちも、この華麗なチーターの虜になったと言います。彼らはインドの平原を飛ぶように走るブラックガゼルを捕らえるために、チーターの飼育に余念がありませんでした。帝国では延べ1万頭を超えるチーターが、ブラックガゼル狩りのために大切に飼育され、狩りのための訓練をおこなってきたのです。

Photo : ©Kazumasa Sakusa



特集2 極寒の幻想的な世界 崇高な皇帝の子育て

日本から 14000km ものはるか南の彼方。世界第三位の面積をほこる巨大な氷の大陸である南極大陸があります。そこでは一年を通して風速 30m を超える猛烈な寒風が氷上に吹き続けています。大陸中央部では真冬にはマイナス 90 度にもなり、比較的暖かい海岸付近でも夏は 0 度、冬はマイナス 20 度になる、想像を絶する厳しい氷の世界なのです。

この地球上で最も過酷で厳しい環境の中で力強く生きているのがコウテイペンギンです。コウテイペンギンは最大のペンギンで、アデリーペンギンとともに南極大陸で繁殖するペンギンなのです。

Photo : ©Kevin Schafer



特集3 白き象牙は深紅に染まる～アフリカゾウたちは今～

赤色の斜光が、アフリカの大地を静かに染め抜いていく。サバンナを駆け抜けてきた熱風が、涼やかな夕刻の空気の中で、少しずつトーンダウンしていくのを感じながら、アフリカゾウたちはゆっくりと移動を開始した。熟しきった夕陽が、白い象牙のエッジに鮮烈な輝きを植えて消えた。

20 世紀の初め、アフリカ全土で 1000 万頭が生息し、繁栄の極みにあったアフリカゾウ。しかし、先進国からの人々の流入によって、殺戮が進み、わずか 60 年で 130 万頭にまで激減し、現在はわずか 30 万頭近くにまで減少してしまった。

夕焼けの中、彼らは水場を目指してもくもくと歩いている。次第に遠ざかっていく彼らの後姿が、陽炎に揺らめいた時、絶滅のレクイエムが聞こえた気がした…。

Photo : ©Kazumasa Sakusa